

殺虫剤

効きめが長く使いやすい


 明日の
農業を
考える

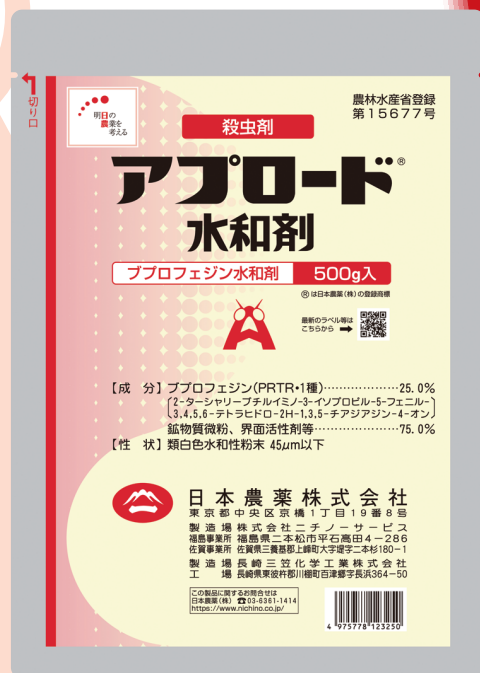
アプロード®

水和剤

環境保全型農業に適した
昆虫成長制御剤 (IGR)

®は日本農薬(株)の登録商標

- 優れた選択性と特異な殺虫作用
- 効果持続性に優れる
- 天敵にも優しくIPMに適した薬剤
(IPM:総合的病害虫雑草管理)



〈写真はイメージです〉



クワコナカイガラムシ



ナシマルカイガラムシ



クワシロカイガラムシ



フジコナカイガラムシ

効きめが長く使いやすい

有効成分：ブプロフェジン …… 25.0%
安 全 性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

環境保全型農業に適した昆虫成長制御剤 (IGR)

特 長

- 幼虫の脱皮を阻害し、齢末期～脱皮時に死亡させる昆虫成長制御剤 (IGR剤) です。
- 成虫に対しては産卵を抑制したり、不ふ化卵を産下させる作用を持ち、次世代の密度を抑制します。
- 選択性に優れカメムシ目の一部の害虫であるウンカ、ヨコバイ、カイガラムシ、コナジラミを的確に防除します。
- 多くの天敵や有用昆虫に対して影響が少なく、IPMに適した薬剤です。（IPM：総合的病害虫雑草管理）

【適用病害虫及び使用方法】 2020年4月適用拡大 2020年5月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ブプロフェジンを含む 農業の総使用回数
みかん	カイガラムシ類幼虫	1000～1500倍	200～700ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000倍					
すだち	カイガラムシ類幼虫	1000～1500倍	5ℓ/㎡	収穫45日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000倍					
かんきつ (みかん、すだちを除く)	カイガラムシ類幼虫	1000～1500倍	200～700ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
なし	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000倍			収穫14日前まで		3回以内
もも	カイガラムシ類幼虫			開花期まで 但し、収穫45日前まで			2回以内
かき					収穫後～落葉前		
うめ				収穫14日前まで			
すもも				収穫7日前まで			
びわ				収穫前日まで			
くり							
キウイフルーツ				キウイヒメヨコバイ			
稲				ツマグロヨコバイ幼虫	1000～2000倍		60～150ℓ/10a
	ウンカ類幼虫		300倍	25ℓ/10a			
小麦	ヒメトビウンカ幼虫		60～150ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
きゅうり	オンシツコナジラミ幼虫	1000～2000倍					
トマト	タバココナジラミ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)	1000倍	100～300ℓ/10a				
	オンシツコナジラミ幼虫	1000～2000倍					
なす	タバココナジラミ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む) チャノホコリダニ幼虫	1000倍	200～700ℓ/10a				収穫21日前まで
	ふき			タバココナジラミ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)			
さんしょう (果実)	カイガラムシ類幼虫		1000ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	2回以内	
茶	クワシロカイガラムシ若齢幼虫		200～400ℓ/10a	摘採14日前まで	2回以内	2回以内	
	チャノミドリヒメヨコバイ幼虫 チャトゲコナジラミ						
たばこ	オンシツコナジラミ幼虫	2000倍	25～180ℓ/10a	発生初期	4回以内	4回以内	
桑	ヒシモンヨコバイ幼虫 ハゴロモ類幼虫	1000倍	200～700ℓ/10a				
ポインセチア	オンシツコナジラミ幼虫	1000～2000倍	100～300ℓ/10a	6回以内	6回以内		
	タバココナジラミ類幼虫 (シルバーリーフコナジラミ幼虫を含む)	1000倍					
ガーベラ	オンシツコナジラミ幼虫						

【注意事項】

- ・散布液調整後はできるだけ速やかに散布する。
- ・本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる兼用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- ・成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。また、その場合、薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず、死亡までに3～7日を要するので十分留意する。
- ・成虫の防除を必要とする場合には、成虫に有効な薬剤と組み合わせる使用とする。
- ・散布時期は、本剤の性質から害虫発生初期の比較的低密度の時期であり多発時の散布は直ちに密度を低下させることが出来ないで、その場合は速効性のある薬剤と組み合わせる使用とする。
- ・すだちのミカンネコナジラミ防除に使用する場合は、本剤が寄生する土壌中の細根部にしっかり薬剤が行き渡るよう樹冠下の地面に灌注するのが効果的である。
- ・かきを使用する場合、幼果期以降に散布すると果皮に薬害を生じるおそれがあるので、必ず開花期までに使用する。
- ・かきに使用する場合は、施設栽培での散布は薬害を生じるおそれがあるのでさける。
- ・なしの萌芽期から新梢伸長期に使用する場合、薬液が乾きにくい条件下では、葉に褐色斑点等の薬害が生じるおそれがあるので、注意して使用する。但し、施設栽培ではこの時期での使用をさける。
- ・適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- ・眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受ける。
- ・散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- ・作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- ・かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

使用前にはラベルをよく読んでください。ラベルの記載以外には使用しないでください。小児の手の届く所には置かないでください。

レイミーの農業チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



レイミー

日農ホームページ





日本農薬株式会社

東京都中央区京橋1丁目19番8号

カスタマーサービス TEL. 03-6361-1414

ホームページアドレス <https://www.nichino.co.jp/>

2020年5月作成版 (TS) AH12005S